

坪生学区まちづくり推進委員会

委員長 小出 純二

（問合せ先） 084-947-2411（坪生交流館）

## 事業内容

### （1）ふれあい事業

- ・坪生ふれあい夏まつり（8月12日 坪生小学校 約6,000人）
- ・つぼうふれ愛フェスティバル（11月5日 坪生小学校 約900人）
- ・健康ウォーキング&とんど祭り（1月7日 坪生小学校 約350人）



「坪生ふれあい夏まつり」

### （2）総務関連事業

つぼうまちづくり便り（年6回）カラー刷り回覧 400枚／7回、スマートフォン教室の開催2回（坪生交流館 延べ25人）、オンライン会議の活用、ホームページ・LINEの作成と更新作業。

### （3）地域安全対策事業（通年）登下校見守りボランティアの活動（30人）、スマートインター設置予定に伴い小学校通学路検討委員会の発足および広島県に危険

箇所改善の要望書の提出、交通安全パトロール（48人）

交通安全運動街頭キャンペーン参加（延べ78人）

### （4）福祉関連事業 生活支援事業「坪生きずな隊」高齢者世帯の

庭木の手入れ、辻ノ池広場清掃作業等22件



「坪生きずな隊」

### （5）環境衛生推進事業 真庭 SDGs・バイオマス視察研修（45人）

廃油回収年4回、環境美化活動（年6回、県道76号線路肩、交差点植樹活動）東朋中学校・東朋中学校PTA・坪生小学校合同美化活動の実施（年2回）

### （6）自主防災に関する事業 防災避難計画の作成の継続、地域防災リーダー育成と行事ごとの要請。防災センター施設研修（43人）、防災訓練（3月9日 坪生小学校 約400人）

### （7）コミュニティ育成事業（通年22町内会）各町内会にて清掃活動、ゴミステーションの補修・充実

### （8）まちづくり推進委員会運営事業 運営のための連携会議の実施 各種団体情報交換会議（年3回）

事業運営会議（本部役員会13回）

## 成果

新型コロナが5類に変わり、当初計画していた行事、事業がすべて行えた。夏まつり、ふれ愛フェスティバルにおいては、住民が待ち望んでいた久しぶりの行事であり多くの住民が参加し盛大に行われ、住民も役員も気軽に参加が出来るような行事内容に改善したためだと思う。昨年度より開設したホームページの充実やLINE公式アカウントによる住民への広報活動も一因と考える。

## 課題

行事の内容を改善したことで、皆が参加し効果はあったが、運営内容に新たな問題も生じている。行事ごとに反省会を行い、課題を抽出し次回につなげていきたいが、役員の高齢化による担い手不足は、大きな課題であり若い人材育成を検討中である。

## 課題解決にむけて

抽出した課題についてスタッフ全員で共有し、次年度の行事に反映できるようにしていく。引き続き地域、市、県と一体となって取り組んでいきたい。

# 学区を越え他団体と共生した坪生のまちづくり

## 海田自衛隊と坪生学区防災訓練

坪生学区の防災訓練を3月9日に坪生小学校にて行いました。

今年度は、各町内会から避難所へ約400人が参集したのち広島市海田自衛隊の皆さんによる講話や自衛隊車輛の説明、ロープワーク訓練を実施。また、自衛隊車輛（野外炊具）を使ったカレーの炊き出し訓練では、隊員の方と一緒に東朋中学校ボランティア部の活躍もあり、学区の防災意識を高め、地域住民同士のきずなを深めることができた防災訓練でした。



【↑自衛隊による講話】



【↑炊き出し訓練】

## 環境施設見学・防災航空センター施設研修

6月16日に環境衛生部会による「真庭 SDGs バイオマス」視察研修を実施しました。参加者45人が他県の先導的環境の取り組みや廃材を無駄にしないという考え方を学区でも取り入れられる場面はないかと考えるきっかけになりました。

また、11月26日には防災部会による呉防災センター&三原市防災航空センター施設見学を行い、参加者43人が豪雨暴風疑似体験や防災ヘリコプターの視察を通して災害からの身の守り方について学びました。



【↑真庭バイオマス発電所】



【↑防災ヘリコプターの見学】

## 総務部会のデジタル研修

一般向けにスマホ教室の開催を2回実施しました。LINE活用講座から内容を派生させ、坪生学まちづくり公式LINEの登録の仕方や、その場で総務部会が情報発信をし、参加者に記事を開覧してもらうなど、学区の情報の受け取り方も一緒に学びました。デジタル研修は住民から需要があるので、今後も継続して行うことを検討しています。



【↑スマホ講座の様子】



## つぼうふれ愛フェスティバルにて広島県警音楽隊による演奏

11月5日につぼうふれ愛フェスティバルを開催しました。今年度は広島県警音楽隊による楽器演奏で会場も大いに盛り上がり、コロナが明け、参加者約900人と共に、賑わいと住民同士のふれあいを取り戻すことができた文化祭となりました。



【↑広島県警音楽隊による演奏】